

眉丈山系 に暮らす

活動 報告

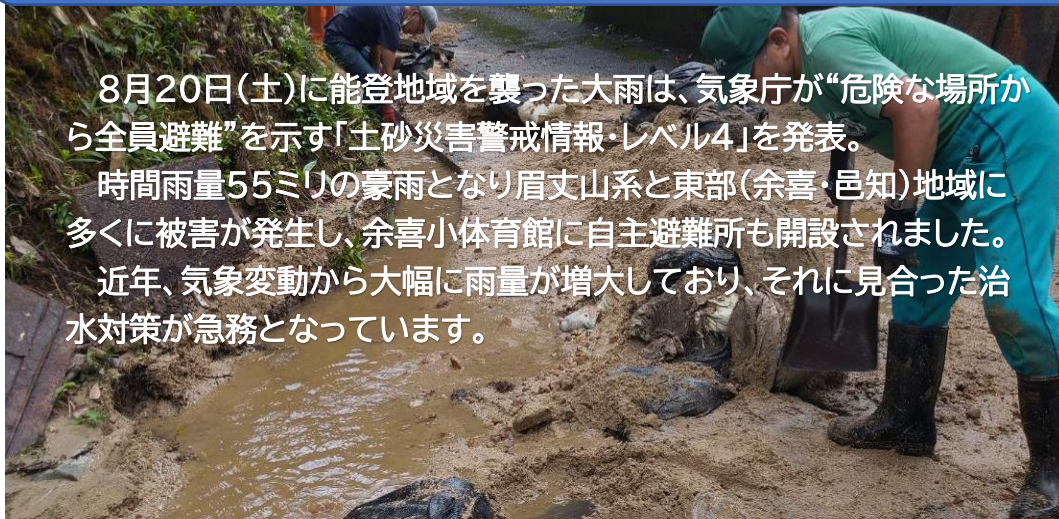


9月
議会

私は、人口減少が進む中、持続可能な地域づくりを第一に考え、地域に暮らす住民の視点で汗を流し行動していきたいと考えています。

活動報告 Vol. 4 (2022年10月) 討議資料

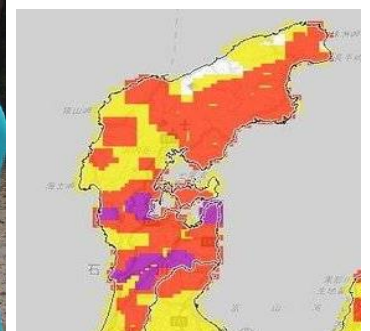
8月大雨、眉丈山系に被害。抜本対策必要！



8月20日(土)に能登地域を襲った大雨は、気象庁が“危険な場所から全員避難”を示す「土砂災害警戒情報・レベル4」を発表。

時間雨量55ミリの豪雨となり眉丈山系と東部(余喜・邑知)地域に多くに被害が発生し、余喜小体育館に自主避難所も開設されました。

近年、気象変動から大幅に雨量が増大しており、それに見合った治水対策が急務となっています。



8月20日の土砂災害警戒情報・レベル4の発令図。羽咋市はより危険度が高い紫表示に。



越水した河川
(千路駅前)



踏切をふさいだ
崖崩れ(千路駅近く)



えぐられた山道
(上中山町)



越水し床下浸水した
河川(柳田町)



満杯の砂防堰堤
(鹿島路町)

大雨

過去に同じ場所で被害が発生。抜本的対策工事が必要だ

質問 想定を超えた雨量前提に対策を

今回の災害発生場所は、過去にも度々被害が発生し危険度が高いところが多い。

もはや想定を超えた雨量に対する治山対策、河川の拡幅、砂防堰堤の保全など抜本的な工事対策が必要。でないとまた同じ個所で被害が起きる。

答弁 年次的に部分改修や土砂除去を

治水対策は巨額のお金と時間を要する。

早期に効果が期待できる部分改修や堆積土砂除去を年次的に実施しており、二級河川や砂防堰堤の適切な管理については石川県に要望していく。

びんご克則後援会事務所

〒925-0076 羽咋市鹿島路町又15
TEL090-9761-4055 FAX0767-24-1151

びんご克則





眉丈台地自然緑地公園、再整備を ロケーション良く、市民の思い出の公園



柳田町の眉丈台地自然緑地公園



※設置管理許可制度とは？ 都市公園法により、公園管理者(市)以外の者が公園施設(飲食店、売店等を含む)を設置または管理することについて公園管理者が与える許可制度のこと。

眉丈台地自然緑公園(柳田町)は、アスレチックや子どもの城などで遊んだ市民にとって思い出深い公園です。

ただ、現状は故障などから遊具が撤去され構内の木造施設も老朽化が進んでおり、きれいな夕日も見れるロケーションからも残念な状況にあります。

いま、民間事業者による公園内の施設設置と管理を許可する“設置管理許可制度”を活用した公園活性化の検討が進んでいます。

質問 公園再整備を進めるべき

答弁 “設置管理許可制度”は民間事業者が民間資金を活用し施設の整備を実施する。公募に向け施設利用料や市負担等の条件整備を進めている。



減額分 2600 万円
を人口減少対策に

面積の縮小等から指定管理料を削減
年間 9500 万円から 6900 万円に

駅賑わい交流施設は、人口減少時代のなか私たちの孫や子に負担を残す施設としてはなりません。完成後に毎年支払うことになる維持管理費(指定管理料)には補助金はなく、市民の税金などの自主財源から支払われます。コスモアイル羽咋の 4800 万円に比べても大きく市民の負担が過大です。ハコモノより人口減少時代に対応した医療・介護、地域連携などのまちづくりに“市民の血税”を使うべきとの思いから、一貫して減額を求めてきました。市は面積縮小等から 2600 万円を減額しました。

質問 指定管理料は減額されたのか？

答弁 当初の見込みから光熱水費を約 1500 万円(当初3000万円)減額し、収入では施設利用料金を 1040 万円(当初600万円)増額した。これにより指定管理料はおよそ 6900 万円(当初 9500 万円)になる。

※(9500 万円-1500 万円+1040 万円=6960 万円)



駅前賑わい交流拠点



自治活動

“2年目の紅はるか”

赤土のイモが好評で面積を 4 倍にした「町会のさつまいも農園」。道の駅等に出荷し地域の高齢者福祉等の支え合い活動に役立っています。



いも苗の植え付け(春)



出来は上々(試し堀り)